




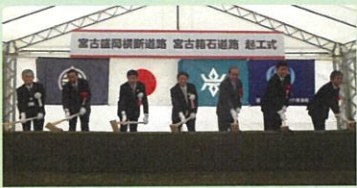






# 三陸沿岸道路(宮古中央JCT~田老真崎海岸IC) 宮古盛岡横断道路(宮古港IC~宮古中央IC)

Sanriku

## 開通までのあゆみ

共通  
田老道路  
西道路

年	主な出来事	事業への取組み
平成23年 3.11	<ul style="list-style-type: none"> <li>●東日本大震災発生</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●国道45号線が津波による崩壊・がれき堆積により不通となり、迂回路がないため町が孤立、救助が難航したことを受け、三陸沿岸道路の早期整備が重要となりました。</li> </ul>
平成23年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>●道路の応急復旧完了</li> <li>●三陸沿岸道路のルート公表</li> <li>●三陸沿岸道路のルート確定</li> <li>●事業評価手続き開始</li> <li>11.21 ●「宮古田老道路」・「宮古箱石道路」の事業化決定・予算成立</li> <li>11.25 ●復興道路会議</li> <li>12.23 ●「宮古田老道路」中心杭設置式</li> <li>3.25 ●「宮古箱石道路」中心杭設置式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●震災後、1ヶ月で道路の応急復旧がされるとすぐに、三陸沿岸道路「宮古田老工区(約21km)」、宮古盛岡横断道路「宮古箱石工区(約33km)」の事業化へ向けた取り組みがスタート。ルートの公表から確定までは2ヶ月、震災後から9ヶ月で事業化となりました。</li> </ul>  <p>▲宮古田老道路中心杭設置式</p>
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「事業促進PPP」始動</li> <li>●埋蔵文化財調査開始</li> <li>●用地取得開始</li> <li>11.18 ●「宮古田老道路」起工式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●官民連携による復興事業促進を図る「PPP制度」を導入。設計のスピードアップや効率的な関係機関協議などを実施し、通常、事業化から着工まで数年かかるところを新規事業化から1年後の平成24年11月に着工しました。(宮古田老道路)</li> <li>●「PPP」取組み事例：通常、用地取得後に行う試掘調査を、地権者の方々の協力を得て用地取得前に実施することができました。</li> </ul>  <p>▲住民説明会の様子</p>  <p>平成24年11月18日 宮古田老道路起工式▶</p>
平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>●埋蔵文化財本調査開始</li> <li>●さんかくニュース「三陸国道」を事務所HP掲載開始</li> <li>●「重津部トンネル」着工</li> <li>●「重津部トンネル」貫通式</li> <li>11.30 ●「宮古箱石道路」起工式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●土工事の本格化に伴い、ダンプ運転による振動・道路汚損等が課題となったことから運転マナー教育やダンプの清掃を開始する等マナーアップ運動を実施しました。</li> </ul>  <p>▲平成25年11月30日 宮古箱石道路起工式</p>
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ダンプ運転マナーアップ運動の実施</li> <li>●「小山田トンネル」安全祈願祭</li> <li>●「田老第3第4トンネル」安全祈願祭</li> <li>●「山口第2トンネル」安全祈願祭</li> <li>●「椋内第1第2トンネル」安全祈願祭</li> <li>●「青野滝大橋」着工</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●用地取得が完了し工事を全面展開。</li> </ul>  <p>▲小山田トンネル安全祈願祭</p>
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「田老第5トンネル」安全祈願祭</li> <li>●「田老第1第2トンネル」安全祈願祭</li> <li>●用地取得が概ね完了</li> <li>●「田老第4トンネル」貫通</li> <li>●「小山田トンネル」貫通式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●用地取得が完了し工事を全面展開。</li> </ul> <p>平成28年3月25日 小山田トンネル貫通式▶</p>   

Express Way





# 三陸沿岸道路(宮古中央JCT～田老真崎海岸IC) 宮古盛岡横断道路(宮古港IC～宮古中央IC)

Sanriku

Express Way

共通	年	主な出来事	事業への取組み
田老道路 西道路	平成 28年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「田老第3第4トンネル」完成式</li> <li>●「山口第2トンネル」完成式</li> <li>●「田老第5トンネル」貫通式</li> <li>●「椋内第1第2トンネル」完成式</li> <li>●「田老第1トンネル」貫通見学会</li> <li>●「青野滝大橋」完成</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●田老真崎海岸～田老北間の直線工事が概ね完了。</li> </ul>  <p>▲平成28年12月10日 田老第5トンネル貫通式</p>  <p>▲平成28年7月15日 椋内第1第2トンネル完成式</p>
	平成 29年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「磯鶏トンネル」安全祈願祭</li> <li>●「山口第1トンネル」貫通</li> <li>●「閉伊川橋」締結式</li> <li>●「田老第2トンネル」貫通</li> <li>●「山口第1トンネル」安全祈願祭</li> <li>●「崎山第2トンネル」安全祈願祭</li> </ul> <p>3.21 ●「宮古田老道路 (田老真崎海岸IC～田老北IC)」 開通</p>	 <p>▲閉伊川橋締結式</p>  <p>▲田老真崎海岸IC～岩泉龍泉洞IC開通</p>
	平成 30年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「閉伊川橋」完成</li> <li>●「千徳トンネル」安全祈願祭</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●今回開通区間全ての橋梁工事が完成。</li> </ul>  <p>▲閉伊川橋完成</p>  <p>▲千徳トンネル安全祈願祭</p>
	平成 31年度 令和 元年度	<ul style="list-style-type: none"> <li>●「磯鶏トンネル」貫通式</li> <li>●「千徳トンネル」貫通式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●今回開通区間全てのトンネル工事が完成。</li> </ul>  <p>▲千徳トンネル貫通式</p>
	令和 2年度	<p>7.12 ●「宮古田老道路(宮古中央JCT～ 田老真崎海岸IC)」開通</p> <p>7.12 ●「宮古箱石道路(宮古港IC～ 宮古中央IC)」開通</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●舗装工事・標識等工事</li> </ul>  <p>▲宮古中央JCT付近</p>  <p>▲宮古中央IC付近</p>





三陸沿岸道路(宮古中央JCT～田老真崎海岸IC)  
宮古盛岡横断道路(宮古港IC～宮古中央IC)

Sanriku

# 早期着工・完成を目指して

## 「復興道路会議」について

一日も早い完成に向けて「スピードアップ」が必要

### スピードアップのポイント

- 1 全ての関係者に対する事業進捗への合意形成
- 2 国・県・市町村・関係機関の連携による課題解決



## 「復興道路会議」を設置

### 会議の構成



▲ 復興道路会議の様子

- 県知事
- 東日本大震災復興対策本部
- 現地对策本部長 (現 復興大臣政務官)
- 関係市町村長
- 地元経済界
- 地元メディア
- 東北地方整備局長



Express Way





# 三陸沿岸道路(宮古中央JCT~田老真崎海岸IC) 宮古盛岡横断道路(宮古港IC~宮古中央IC)

Sanriku

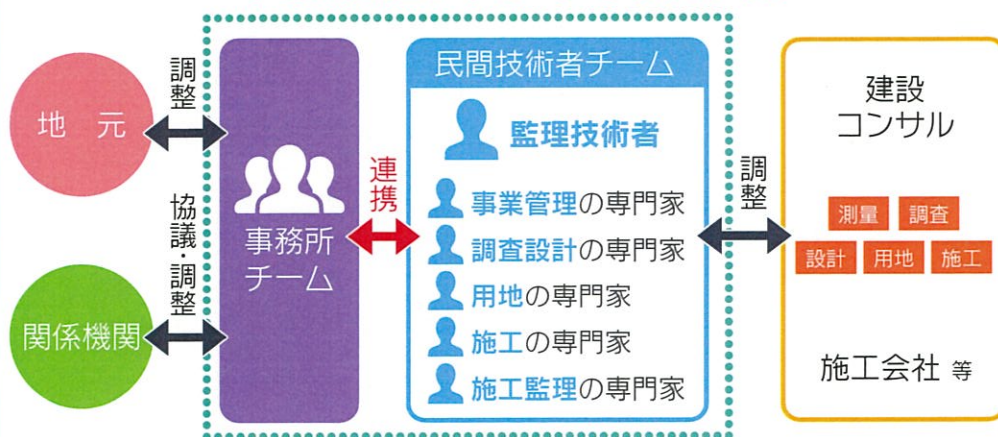
## 早期着工・完成を目指して

### 全国で初めて「事業促進PPP※」を導入

三陸沿岸道路の復興事業では、国内初の事業促進 PPP を導入しました。事業促進 PPP とは、官民がパートナーを組み、官民双方の技術・経験を活かしながら効率的なマネジメントを行うことにより事業の促進を図るものです。

民間技術者チームは、「事業管理」、「用地」、「調査設計」、「施工」、「施工監理」のエキスパート(専門家)で構成されています。それぞれが連携しながら、全体の最適な進め方を検討・実施しました。

#### 事業促進PPPの事業体制



▲ 関係市町村との協議の様子



▲ 地元説明会での様子



▲ JRとの現地立ち合いの様子



▲ 電力関係者との協議の様子(立会)



▲ 設計コンサルタントとの道路詳細設計打合せ

※PPP・・・Public Private Partnership の略(官民連携・公民協働の意)

Express Way





復興道路  
復興支援道路

# 三陸沿岸道路(宮古中央JCT~田老真崎海岸IC) 宮古盛岡横断道路(宮古港IC~宮古中央IC)

Sanriku

## 早期着工・完成を目指して

### 各分野の専門家が専任・常駐し 迅速な合意形成に向けて邁進

#### 専任・常駐

- ▶ 専任・常駐により、即座に課題への対応が可能
- ▶ 発注者チームとPPPチームの密接情報交換が可能となり、あらかじめPPPで検討した内容を発注者と調整することにより、方針の食い違い手戻りを防止
- ▶ 関係機関や地権者の疑問や要望に対して迅速に対応
- ▶ 地元・関係機関と接する機会が増え、地元要望や問題点の早期把握が可能



▲関係機関協議の様子(立会)



▲道路詳細設計打合せ

#### 各分野(事業監理、調査・設計、用地、施工)の専門家の配置

- ▶ 発生した課題に対して、各分野の専門家による多方面からの検討により、解決策を早期に提示
- ▶ 施工担当によるフィージビリティの確認、用地担当による用地リスクの考慮、地元要望の反映等により設計成果の品質が向上し、施工時の手戻りを最小化
- ▶ あらかじめ事業の各段階でのリスクを抽出し、戦略的な対応策の立案により事業の遅延を防止
- ▶ 事業監理、施工担当による実現性の高い工程の立案と進捗管理

#### 課題

- H25年度の工事着手を目標。(目標まで1年不足)
- 複数におよぶ関係機関との設計協議などに膨大な時間を要する。

#### 取り組み

- 協議相手の全関係機関とPPPが一同に介して協議を実施。
- H24年から協議を複数回実施。

#### 短期間での合意形成を実現



▲関係機関協議の様子

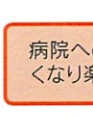


▲関係機関現地立会の様子

#### 説明会参加者の声



災害が発生した時には幹線道路のダブル化で心強い。



病院への送り、迎いが早くなり楽になりそうだ。



物流が活発になりそうだ。

分かりやすい説明資料を用いた地元協議の促進



インターチェンジ



ハーフインターチェンジ



▲完成予想図パネルによる住民説明の様子

Express Way





復興道路  
復興支援道路

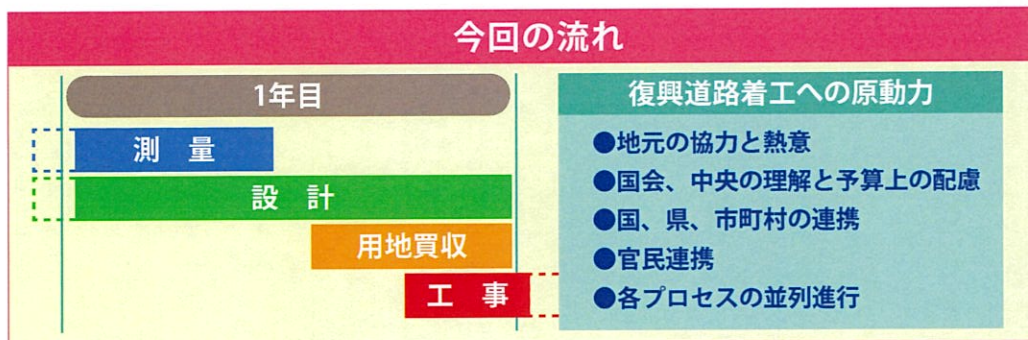
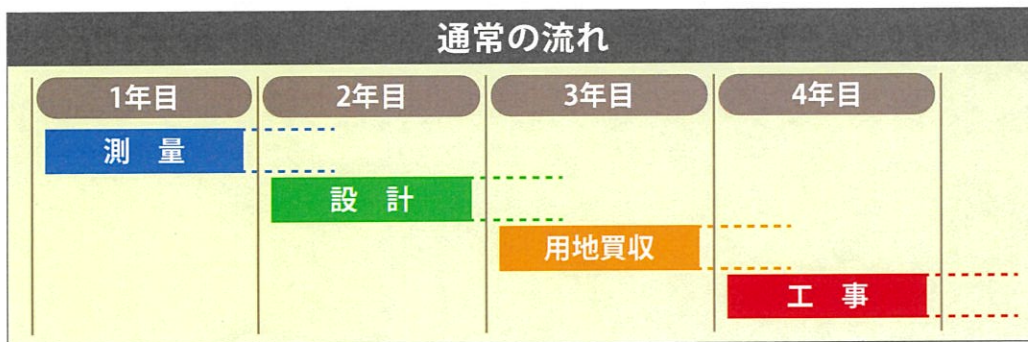
# 三陸沿岸道路(宮古中央JCT~田老真崎海岸IC) 宮古盛岡横断道路(宮古港IC~宮古中央IC)

Sanriku

## 早期着工・完成を目指して

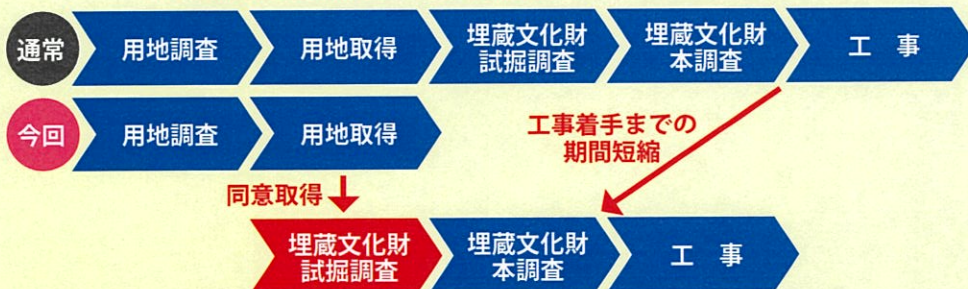
### 事業プロセスを並列で進めました。

通常は新規事業化から工事着工まで、4年かかるところを、「地元の協力と熱意、国会、中央の理解と予算上の配慮、国、県、市町村の連携、事業促進PPPに代表される官民連携、各プロセスの並列進行」が原動力となり、1年以内に短縮して実施しました。



### 【設計・協議の効率化：工程の短縮】各プロセスの並列進行

#### 埋蔵文化財試掘調査の用地取得前実施による工程短縮



▲支障移転調整会議の様子



▲埋蔵文化財試掘調査立会の様子



▲用地調査確認サポートの様子

Express Way





# 三陸沿岸道路(宮古中央JCT~田老真崎海岸IC) 宮古盛岡横断道路(宮古港IC~宮古中央IC)

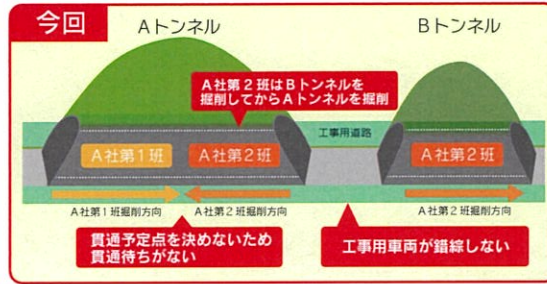
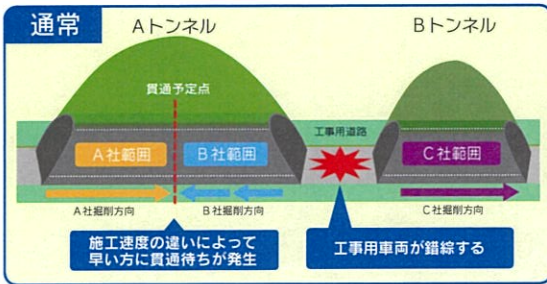
Sanriku

## 早期着工・完成を目指して

### 工事発注の規模を大きくしました。

- ✓ トンネル工事と橋梁工事の一括発注
- ✓ 施工方法の合理化が可能
- ✓ 発注件数と工事時間、調整頻度を減らす

施工期間の  
大幅短縮



#### 宮古田老道路での大ロット工事 事例

#### 国道45号榎内地区トンネル工事 工事概要

##### 工事概要

宮古田老道路(延長約21km)の自動車専用道路の内、  
榎内地区の榎内第1(L=611m)、榎内第2トンネル(L=1,417m)をつくる工事です。

- 工事名 : 国道45号榎内地区トンネル工事
- 工事場所 : 岩手県宮古市崎山田老字古田~田老字小田代
- 工期 : 平成25年12月27日~平成30年3月30日(当初:平成28年9月16日)
- 工事内容 : 【トンネル】

榎内第1トンネル:延長 L=611m 幅員 W=12.0m内室断面積87.5㎡  
榎内第2トンネル:延長 L=1,417m 幅員 W=12.0m内室断面積94.9㎡

【橋梁】田代川橋

下部工構造形式

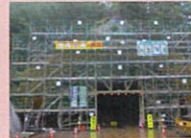
A1橋台:逆T式橋台(直接基礎) A2橋台:逆T式橋台(深礎杭φ3500)

P1橋脚:柱式橋脚(場所打ち杭φ1200) P2橋脚:柱式橋脚(場所打ち杭φ1200)

上部工構造形式

形式:PC3径間連続ラーメン箱桁橋/橋長:170.0m

支間:49.0m+69.0m+50.0m/幅員:有効幅員12.01m,全幅員12.67m



Express Way





三陸沿岸道路(宮古中央JCT～田老真崎海岸IC)  
宮古盛岡横断道路(宮古港IC～宮古中央IC)

Sanriku

## 地域と共に…

# 1 「復興道路等の整備の見える化」の取り組み

復興道路・復興支援道路の整備の進捗状況を地域の皆様に実感して頂くため、パネル展、ホームページ掲載や、「工事だより」等の広報誌の配布を行なっています。

復興道路・復興支援道路工事進捗状況パネル展 <2017年8月10日～22日実施>



「106の日」広報活動・体験コーナー・現場見学会 <2019年10月6日実施>



「コープDORA」パネル展示

<2017年10月6日実施>



市役所ロビーモニター設置状況



事務所ホームページ掲載

復興道路・復興支援道路の進捗状況をご覧いただけます。  
[http://www.thr.mlit.go.jp/sanriku/03\\_topics/fukkou/index.html](http://www.thr.mlit.go.jp/sanriku/03_topics/fukkou/index.html)



Express Way





# 三陸沿岸道路(宮古中央JCT～田老真崎海岸IC) 宮古盛岡横断道路(宮古港IC～宮古中央IC)

Sanriku

## 地域と共に…

### 2 現場見学会

地域のみなさまに工事進捗状況を実感していただくため、現場見学会を積極的に実施し、多くのみなさまにご参加いただきました。

JR磯鷄ボックス・小山田TN  
藤原小学校見学会  
＜2015年9月17日 実施＞



千徳小学校見学会  
＜2016年9月28日 実施＞



明日を拓く宮古のみち女性の会  
＜2016年9月29日 実施＞



盛岡市立厨川中学校  
宮古田老見学会  
＜2016年10月27日 実施＞



宮古商工会議所  
現場見学会  
＜2017年8月22日 実施＞



磯鷄TN終点側  
NPO法人みやっこベース 現場見学会  
＜2018年6月30日 実施＞



Express Way





三陸沿岸道路(宮古中央JCT~田老真崎海岸IC)  
宮古盛岡横断道路(宮古港IC~宮古中央IC)

Sanriku

## 地域と共に…

### 3 CSR※活動(社会貢献活動)

※CSR……Corporate Social Responsibilityの略

三陸沿岸道路の建設に携わっている各社並びに安全衛生連絡協議会(略称:安全協議会)では、“CSR=企業の社会的責任”として、地域の道路清掃等の社会貢献活動を継続的に行っています。

#### 安全協議会 閉伊川緑地公園河川清掃作業 <2015年10月30日 実施>

地域及び既存施設の清掃を行いました。



#### 安全協議会 道路清掃(現道106号) <2017年11月17日 実施>

地域の道路沿いの清掃を行いました。



#### 田老体育大会への参加 <2018年10月7日 実施>



#### 海岸清掃

<2019年7月6日 実施>

地域の海岸清掃を行いました。



#### 安全協議会 道路清掃(DORA前)

<2019年9月20日 実施>

地域の道路沿いの清掃を行いました。



Express Way